

多摩大学附属聖ヶ丘中学校

二〇一九年度入試問題

国語

第五回（二月五日午前実施）



二〇一九年度

入学試験問題

(二月五日午前)

国語

多摩大学附属聖ヶ丘中学校

- 一 開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。
- 二 開始の合図があったら、最初に問題用紙十ページ、解答用紙二枚を確認してください。
- 三 解答用紙に受験番号と氏名を記入してから始めてください。
- 四 問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事がある時は、声を出さずに手をあげてください。
- 五 字数が指定されている問題は、記号・句読点も一字として数えてください。
- 六 問題用紙は回収しません。
- 七 筆記用具の貸し借りはしないでください。
- 八 試験時間は五十分です。終了五分前になったら知らせます。
- 九 答案を書き終わっても座席からはなれないでください。

次の(1)～(5)の——線部の漢字をひらがなに、(6)～(10)の——線部のカタカナを漢字に改めなさい。

- (1) 割れたコップの破片。
- (2) 墓穴を掘るのに等しい行為。
- (3) 要領よく作業する。
- (4) 知己のような親しみを抱く。
- (5) 前後の見境もなく行動する。
- (6) テツボウで逆上がりを実習する。
- (7) 食糧をチヨゾウする。
- (8) まさか入賞するだなんてムソウだになかった。
- (9) 「君、それはキジヨウの空論に過ぎないよ。」
- (10) ヘイソからお世話になっている。

二

次の(1)～(5)の外來語を漢字二字の熟語で表すとどのようなになりますか。()にあてはまるものを、あとのア～オの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

(1) マスター ↓ 習 ()

(2) レース ↓ () 走

(3) コース ↓ 順 ()

(4) リサーチ ↓ 調 ()

(5) ターゲット ↓ () 的

ア 路 イ 標 ウ 競 エ 得 オ 査

三

次のカタカナの文章を読んで、漢字とひらがなと読点を正しく用いて書き直しなさい。

カコゴネンカンニハツセイシタドクキノコニヨルシヨクチュウドクハヒヤクゴ

ジツケンホドアリレイネンジユウガツニモットモフエル。シヨウヒシャチヨウノ

タントウシヤハコトシハナツノキオンガタカクテキドナコウウガアルナドキノコノ

セイイクジヨウケンガトトノツテイルトイウ。キノコハセイイクジヨウケンデイロ

ヤオオキサガコトナルバアイガアリミワケルノハムズカシイ。

次のA・Bの文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(なお、作問の都合上省略した部分があります。)

A

今年は、年初めから世界中で不穏おんなことばかり起こって、おそらく年内は世界中が() ()する状態になることでしょう。しかしこうしたニュースが届くたびに我々までが() ()しては、精神的に参ってしまおう。だから精神バランスを取るために何ができるかといえば、結局は一人一人が自分でできることをするしかない。

それで今回は、^①その気になりさえすれば、われわれ誰だれもが手軽にできることを、日本の皆みなさんに提案したいんです。それは前々から帰国のたびに感じていたことですが、「おもてなし」という言葉に対する違和感から思いつきました。最近、外国からの観光客が増えて、これは日本にとっていいことであるのは当然ですが、でも日本には「おもてなし」があると胸を張られると考え込んでしまうんですね。まるでアラビアン・ナイトのおまじないみたいに、唱えるだけで外国人みんなが喜んでくれるという感じがしてしまう。

日本を訪れる観光客は二つに大別されると思います。第一は、団体を組んでやって来て爆買ばくいを楽しむ人たち。第二は、友人や家族だけで小さなグループを組んで来る人たち。

第一のグループに関しては、これはもう旅行会社の仕事で、彼らかれに任せておけばいいこと。だけど^②第二のグループに関しては、単なるおもてなしでは十分とは思えない。社会的に言えば、このグループに属する観光客はヨーロッパやアメリカの中流の人たちだから、大金持ちではないけれど、それだけに知的好奇心が強く日本を知りたいと思ってる人たちなんです。買い物もするけど、買い物に熱中する人たちではなくて、日本の箸置きはしをコレクションするようなお客さん。ちなみに日本の箸置きはなかなかのものだと思う。丁寧ていねいに出来ているだけではなくてユーモアがあります。

この種のリピーターになる可能性がある外国人に対して最も効果のあるおもてなしとは、一泊ぱくが十万円近くもする高級旅館でのそれなりに素晴らしいサービスを提供することではないと思う。まずもって彼らはそんなお金は持っていないし、プライベートでこれほどのお金を使う気になる人々でもありません。

ではどんなおもてなしがこの人々に満足みたを与えることができるでしょうか。それは私が思うには、「ありがとう」「どうぞ」

「どういたしまして」という三つの日本語を活用することです。なぜかという、日本に関心を持って旅行に来る外国人は、われわれだってそうであるように、その国の言葉を習うとうれしくなる。だからこの三つの日本語も、英語とかフランス語とか中国語に直す必要はない。堂々と日本語で言えはよいのです。【ア】

「どうぞ」は、英語では「プリーズ」ですが、イタリア語では「プレーゴ」と言います。そしてこの「プレーゴ」には、もう一つ別の使い方がある。それは「グラツツェ」（ありがとう）に対して「プレーゴ」と答えた場合。その場合は、「どうぞ」ではなくて「どういたしまして」の意味になるんです。この言葉が素晴らしいと思うのは、自分がした親切に対する相手からの感謝をそのまま受け止めるのではなく、半分返すものだからでしょう。【イ】

人間関係とは「ありがとう」と言った時に、それでそのまま終わるものではない。「どういたしまして」と言って半分返す。人間関係のとても素晴らしい面がこの言葉には表れていると思うんです。だからこそ外国人に対して最も効果があるのは、日本語で返すことだと思う。

その時には気を付けてほしいことが一つあります。この三つの言葉のどれでも言うたびにニコツとしてほしいのです。日本人は決して親切でないわけではないのに、親切の示し方が下手だと思う。この親切な言葉を口にする時は、相手の目を見て、ニコリして欲しいんですね。そうすれば、この効果が十倍になることは確信を持って言えます。【ウ】

日本人はなかなかニコリできない。それは、われわれの責任でもあるんですね。よく知っている人には親切にするけど、知らない人に親切にするのがとても苦手なんです。それは親切にされた側が「この人、下心があるんじゃないかしら」と変な目で見ながら、親切にした側が二度とそうした行動は取らなくなってしまうんです。はっきり言ってしまえば、日本人の男は親切にするのが下手で、日本人の女は親切にされるのが下手ということですね。

だからまず、外国人に対して使う前に、同じ日本人同士で使ってみてはどうでしょうか。【エ】

これこそお金を一銭も使わず、たいした気苦労もせず、われわれができる「おもてなし」だと思えます。カタカナではなくて、ひらがなの「おもてなし」。今年は、この三つの言葉を活用してみてもどうでしょうか？

B

日本に来る観光客も、個人で来たり、家族で来たり、友達と来たりする人たちが増えて来ています。この人たちは、知的には上流でも経済的には中流階級ですから、一泊^{ぱく}五万円以上もするホテルは敬遠^{けいゑん}するでしょう。まずもって、異国での滞在^{たいたい}は一泊では不^{じゅう}充分^{ぶんぶん}で数日は必要^{ひつよう}だと思^{おも}っている。お金^{かね}はそれなりに持^もつてはいても、賢^{かしこ}く使^{つか}いたがるのがこの人たちなのです。

ただし、爆^{ばく}買^{かい}いを楽し^{たの}む団体客^{だんたいきゃく}とちがうのは、日本に対^{たい}する知的^{ちてき}好奇心^{こうきしん}でしよう。その好奇心^{こうきしん}に^{こた}応^おえてあげるのが、最上^{さいじょう}のおもてなしだと思^{おも}う。それで今回は、この人たちが絶対^{ぜったい}に喜^{よろこ}ぶであろうことを二つ提案^{ていせん}したいと思^{おも}います。
まず温泉。

日本の温泉は文句^{ぶんく}なしに素晴^{すば}らしい。(あ) 外国人^{がいこくじん}も、同感^{どうかん}するでしょう。ならば、到^{たう}着^{ちやく}したお客^{おきゃく}を浴場^{よくばう}に案内^{あんない}しただけでよいかとなると、西^{せい}欧^{おう}の人の場合^{ばあひ}はそうではないんですね。と言^いって、部屋^{へや}ごとに温泉^{おんせん}が引^ひいてある高級^{こうき}旅館^{りやうかん}よりも、やはり温泉^{おんせん}の妙^{みょう}味^みとは、大きな浴場^{よくばう}でみんなで入^いることにある。なのにアメリカ人もヨロロッパ人も、裸^{はだか}になつて温泉^{おんせん}に入^いるのに、抵抗^{ていこう}を感じる人が多^{おほ}い。古代^{こたい}のギリシアやローマでは裸^{はだか}体を人前^{ひとまへ}にさらして平然^{へいぜん}としていたのに、中世^{ちゆうせい}以降^{いご}、その文化^{ぶんか}がなくなつてしまつたからです。

キリスト教^{きりすときやう}は、肉体^{にくたい}を人前^{ひとまへ}にさらすのを極度^{げつど}に嫌^{きら}悪^{あく}する宗教^{しゆきやう}でした。その西^{せい}欧^{おう}に裸^{はだか}体^{たい}讚^{さん}美^びが復^ふ興^{きやう}するのは実に一千年^{いっせんねん}が過ぎたルネサンス時代^{ルネサンスじだい}になつてからですが、^⑤後遺症^{しゆいしやう}はまだ残^{のこ}つている。

イタリアにも温泉^{おんせん}があります。イタリアは、日本と同じ火山国^{かざんこく}ですから温泉^{おんせん}はいっぱいあるけれど、その素晴^{すば}らしい大浴場^{だいくばう}へは、全員^{ぜんいん}が水着^{みずぎ}で入^いらなくてはなりません。私は水着^{みずぎ}を着^きて温泉^{おんせん}につかるのは、欧州^{おしやう}に暮^くらして半世紀^{はんせいき}たつてもどうも好き^{すき}になれない。だから彼^{かれ}らが日本^{にっぽん}に来てても、人前^{ひとまへ}で裸^{はだか}になるくらいなら温泉^{おんせん}などあきらめてしまいかねないのです。その彼^{かれ}らに日本の素晴^{すば}らしい温泉^{おんせん}、大浴場^{だいくばう}、山間^{さんかん}の岩場^{いわば}の温泉^{おんせん}を楽し^{たの}んでもらうために、私はこうしたらどうかと思^{おも}うんですね。

つまり、三十分^{さんじふぶん}予約^{よやく}制^{せい}にするのです。彼^{かれ}らは日本^{にっぽん}のように男女別^{なんにょべつ}にしても、他の人^たちがいと落ち着^{おち}かない。だから三十分^{さんじふぶん}だけは彼^{かれ}らだけの専用^{せんよう}とする。家族^{かぞ}や恋人^{こいびと}に対^{たい}してならば、裸^{はだか}でも抵抗^{ていこう}感がなくなるから。

三十分^{さんじふぶん}でいいというのは、外国人^{がいこくじん}はあまり長湯^{ながゆ}はしないからです。温泉^{おんせん}につかることでのあの快感^{かいたん}は、水着^{みずぎ}などで邪魔^{じやま}されず^ずに肌^{はだ}で直接^{じきく}に味^{あじ}わつてもらわなければもつたない。こういうシステム^{システム}を各ホテル^{かくほてる}、各温泉旅館^{かくおんせんりやうかん}が作^{つく}つたとすれば、絶対^{ぜったい}に成功^{せいこう}

します。

第二は、旅館の夕食。

日本の旅館は夕食が売りのようだけど、あの夕食の品数と量の多いこと。これをもつたいたいと感じる外国人は多いと思います。私などはあれがネックで、しかたがないから西洋式のホテルに泊まりますが、外国人にはやはり日本式の旅館に泊まってもらいたいですよね。

夕食のサービスは全廃してはどうでしょう。雇っている板前の費用もなくなるから、旅館の宿泊料金をもっと安くできるので？ そうなれば、知的には上流でも経済的には中流の彼らにとっては大歓迎のはずです。

(い)、旅館は周辺にある居酒屋とか小料理屋とかをネットワーク化する。そしてお客の希望を聞き、今日は魚が食べたいと思ったら魚専門の居酒屋を紹介し、予約してあげる。旅館がやるのはここまでです。彼らはそこへ行けば自分で料理を選べるし、また外国を個人旅行している人たちは、隣の席で食べている人の料理がおいしそうで、「あれと同じものください」となるものなんですよ。

ただし、日本の旅館の朝食は、よく考えて作られていて、これまたインターナショナルに紹介してもいい一つだと思っています。だから、日本式の朝食は提供する。そして昼食と夕食は、外のお店で食べてもらう。

このシステムでは、旅館が儲けるだけではなくて、近くのお店もみんなで儲けることになるので、地域の活性化にも役立つ。お客の嗜好を尊重しながら、それでいて迎える側、つまり旅館とか居酒屋とか小料理屋とかも、少しばかり頭を使うだけでいいんですよ。

この改革が成功すれば、恒久的なりピーターになってくれるかもしれない。(う)、今やITの時代。職種によっては、世界のどこに住んでも仕事はできる。知的には上流に属すこの人々だから、日本に移住してもいいと思いき出すかもしれないんです。

(塩野七生『逆襲される文明 日本人へⅣ』より)

問一 本文中には次の一文が抜けています。どこに入りますか。最もふさわしい場所を、本文中の【ア】～【エ】の中から一つ選び、記号で答えなさい。

他人に対して親切にする行為に慣れてくれば、相手が外国人になってもごく自然にできるようになるんじゃないでしょうか。

問二 Aの本文中の（ ）にあてはまる四字熟語として最もふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自信喪失 イ 疑心暗鬼 ウ 右往左往 エ 優柔不断

問三 ———線部①「その気になりさえすれば、……日本の皆さんに提案したいんです」とありますが、筆者の提案することが直接述べられている一文を、Aの本文中から抜き出し、最初の五字を答えなさい。

問四

——線部②「第二のグループ」とありますが、それに属する人としてふさわしくないものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 京都や奈良の博物館に行き、郷土の歴史や文化を学ぶ人

イ 瀬戸焼に興味を持ち、自ら陶芸を体験する人

ウ 銀座を観光し、多くの海外ブランド品をお土産に購入する人

エ 日本のアニメや漫画が好きで、物語の舞台となった場所を訪問する人

問五

……線部Ⅰ「堂々と日本語で言えばよいのです」、……線部Ⅱ「だからこそ外国人に対して最も効果があるのは、日本語で返すことだ」とありますが、筆者が「日本語」であることを大切に考えているのはなぜですか。本文中の言葉を用いて答えなさい。

問六

Bの本文中の（あ）（い）（う）（え）にあてはまる言葉を、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア その代わり イ それどころか ウ おそらく

問七 ——— 線部④「お金はそれなりに持つてはいても、賢く使いたがるのがこの人たち」とありますが、これと同様の人たちを指している部分を、Bの本文中から十八字で抜き出して答えなさい。

問八 ——— 線部⑤「後遺症はまだ残っている」とありますが、ここでの「後遺症」とはどういうことですか。説明しなさい。

問九 Bの文章はAの文章とどのような関係にありますか。次のア～エの中から最もふさわしいものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア BではAが否定されており、Aとは正反対の論が展開されている。

イ BではAが否定されており、Aとは全く異なる話題が述べられている。

ウ BではAが補足されており、Aで不十分だった説明が加えられている。

エ BではAが補足されており、Aとは別の具体的な例が挙げられている。

問十 ~~~~~ 線部「われわれができる『おもてなし』とありますが、外国人に対して「われわれができる『おもてなし』」にはどのようなものがありますか。あなたの考えを具体的に二百字以内で書きなさい。

| | | | |
|------|--|--|--|
| 受験番号 | | | |
|------|--|--|--|

| | |
|----|--|
| 氏名 | |
|----|--|

| | |
|----|---|
| 得点 | * |
|----|---|

| | |
|----|----|
| 小計 | 四 |
| | 60 |

- 問一 5点
- 問二 4点
- 問三 5点
- 問四 5点
- 問五 6点
- 問六 3点×3
- 問七 5点
- 問八 6点
- 問九 5点
- 問十 10点

| | |
|----|-------|
| 問一 | 工 |
| 問二 | ウ |
| 問三 | それは私が |
| 問四 | ウ |

問五 日本に関心を持って旅行に来る外国人は、日本語で返されるとうれしくなるから。

問六 あ ウいアうイ

問七 知的には上流でも経済的に

は中流の彼ら

問八 人前で裸になることに抵抗を感じる。

| | |
|----|---|
| 問九 | 工 |
| 問十 | |

*実際の解答用紙はB4判です。

*印のところは、何も記入しないでください。